

令和4年度岩手県生涯学習推進研究発表会

「岩手の人づくり・つながりづくり・地域づくりフォーラム2022」というテーマのもと行われた研究発表会には、2日間で157名の方々に参加いただきました。

◆ 当センターの研究成果を発表



岩手県立生涯学習推進センター 社会教育主事 高橋 祐輝
岩手県立生涯学習推進センター 社会教育主事 高橋 啓

1日目の研究発表では、「地域づくりにおける公民館等の役割と課題に関する研究～震災後の地域復興・地域創造に焦点を置いて～」を高橋祐輝社会教育主事が、「社会教育におけるICT活用のあり方に関する研究」を高橋啓社会教育主事がそれぞれ発表しました。



岩手大学
名誉教授 新妻 二男氏

その後の協議は、コーディネーターの岩手大学名誉教授 新妻二男氏が進行しました。それぞれの研究内容を深めていただくと共に、研究に対するご助言とコメントをいただきました。

◆ 事例発表・協議 「人づくり・つながりづくり・地域づくり」とICT活用



埼玉県さいたま市教育委員会 生涯学習総合センター
事業・企画係主査 曾根 啓 佑 氏



遠野市教育委員会 市民センター 生涯学習スポーツ課
主任兼社会教育主事 佐々木 一樹氏(左)
主事 嶋村 千春氏(右)

2日目午前は、遠野市教育委員会 主任兼社会教育主事 佐々木一樹氏、主事 嶋村千春氏とさいたま市教育委員会 事業・企画係主査 曾根啓佑氏から、それぞれ「遠野市の社会教育推進におけるICTの活用に向けた『トライ』」、「さいたま市におけるICTを活用した生涯学習の取組について」と題して事例発表をしていただきました。

その後、コーディネーターの関東学院大学国際文化学部 学部長(教授) 吉田広毅氏の進行で、「『人づくり・つながりづくり・地域づくり』とICT活用」のテーマのもと、「ICT活用と社会教育の関連、有効性」や「今後の展望」などの視点で協議を行いました。

◆ 講演「社会教育におけるICT活用について考える」



関東学院大学国際文化学部
学部長(教授) 吉田 広 毅 氏

2日目午後は、午前に引き続き、関東学院大学 学部長 吉田広毅氏に「社会教育におけるICT活用について考える」と題してご講演をいただきました。「ICTと教育」や「地域教材の教育利用」「社会教育におけるSNSの活用」など、ICT活用の有用性やねらい、活用法の可能性などご教示いただきました。ICTの活用は、今後の社会教育の場においてもさらに重要視され、発展・進化していくと思われます。ICT活用によって得られる様々な学習効果やつながり、デジタルアーカイブ等の情報の蓄積・整備によるコンテンツの提供など、大学での研究や様々な実践をもとにしたご説明に、参加者から「知見に溢れた内容で大変参考になった」との声が寄せられました。

《参加者の声》

- 本県の社会教育におけるICT活用のあり方について、現状や課題を把握できたことに加え、先進的な取組事例や講演により、実際の活用場面がイメージできたので有意義であった。また、アンケート分析による公民館の役割と課題の説明が分かりやすかった。
- 今後の社会における公民館の在り方や社会教育におけるICT活用の効果について知ることができ、広い県土を有する岩手県の人づくり、つながりづくり、地域づくりへの希望を持つことができた。

《参加者の評価》

A (有意義)	83.3%
B (どちらかといえば有意義)	16.7%
C (どちらかといえば有意義でない)	0%
D (有意義でない)	0%

《担当者(平澤)から》

今回の発表会は、参集・オンラインのハイブリット型で開催し、遠方の方にもたくさんご参加いただきました。今回の研究発表、事例発表、協議、講演等を通して、震災後10年を経た公民館のこれからの役割や意義、また、社会教育におけるICT活用の効果等について考えを深めることができたのならば嬉しく思います。